

第6学年1・3組 外国語科学習指導案

指導者 藤 大 航

単元 「This is My school memories.」

本単元の目標

- ◎ 伝える目的に応じて英語の構成に沿って、内容や英語表現を整理し、即興的に話すことができる。

本単元の考え方

- 本単元では、伝える目的に応じて内容や英語表現を整理し、即興的に話すことをねらいとしている。具体的には、①自分の学校の紹介や思い出などについて伝える目的や内容に応じて英語の構成『introduction(はじめ)、body(中)、conclusion(終わり)』に当てはめて内容や英語表現を整理し、伝える内容や英語表現を取捨選択、判断しながら即興的に話すこと、②異なる文化をもつ他者の考えを推し量りながらコミュニケーションを図ること、③自己の伝えたい内容を異なる方法(プレゼンテーション、やり取り)で表現することのよさを捉えることなどである。本単元では、伝える相手や目的に応じて、どのような内容を伝えるのか、状況に応じて伝える内容や表現を取捨選択、判断して即興で話す力を高める上で価値がある。
- 本学級の子供たちは、6月「話すこと(発表)」の領域でのプレゼンテーションの学習で、話し手为中心となり、聞き手を引き込む話し方を捉えることができた。一方で、子供たちは、目の前の他者とのやり取りにおいて、コミュニケーションがうまくいかない際に即興的に修復し話を継続する力を身に付けることができていない。そこで、「話すこと(やり取り)」の領域において言語活動を設定し、領域「話すこと」の活動を統合させて学習することで、その場で英語表現を整理したり、非言語表現を用いたりして即興で話す力の発揮を促したい。このことは、中学校で求められる話すことの資質・能力の基礎を築く上で価値がある。
- 本単元の導入段階では、「その場での質問に答えたり会話を継続したりする話す力を高める」という単元の目標を設定すると想定する。そのために実際に英語話者である海外の方(本単元はタイ王国の子供)と交流する場を設定する。そして展開段階では、まず、GTのモデルスピーチから英語の構成を捉えることができるようにする。次に、英語の構成に沿って内容を整理したプレゼンテーションを行い、獲得した英語の構成を活用してその場でのやり取りを想定した英語表現に慣れ親しむことができるようにする。最後に終末段階では、実際に留学生とやり取りをすることで、即興で話す力の高まりを自覚することができると思う。

学びの文脈

《主に社会的・実用的側面》

タイ王国の子供や海外の観光客の方との出会いから生まれた外国語でコミュニケーションを図る力を高めたいという思いを外国語科の学習で追究し、日常生活に生かすことができるような文脈をつくっていく。

単元計画(全6時間)

単元における活動・内容・手立て	
1	タイ王国の子供大使と出会い、学校紹介のプレゼンテーションに対する質問に答え、学習課題について話し合う。 1
○	その場でのやり取りを継続する力を高めるという課題を捉えること
※	単元における学習課題と高めたい力を関連付けてとらえることができるようにするために、1年間の学びの道しるべ(子供と教師でつくった学習計画)を提示する。
その場での質問に答えたり会話を継続したりする話す力を高めよう。	
2	その場でのやり取りに必要な英語の構成と、会話の継続に活用できる英語表現を話し合う。 3
(1)	英語の構成について話し合う。
○	モデルスピーチを聞き、はじめ、中、終わりの英語の構成を捉えること ②
※	気持ちや感情が伝わる英語の構成を捉えることができるようにするために、GTのモデルスピーチを提示する。
(2)	留学生にプレゼンテーションし、その場でのやり取りをする。 本時①
○	英語の構成を用いて話すことで、文脈に応じたやり取りができることについて気付くこと
※	その場でのやり取りにおける英語の構成と内容を整理することができるようにするために、英語話者である留学生との交流の場を設定する。
3	交流した相手からのメールや手紙に返信する。 1
○	これまでの学習において慣れ親しんできた、英語表現を活用して正しい書き方を捉えること
※	本単元までの学習において、子供たちが活用してきた英語表現を書き写して使用することができるようにするために、文字と音声を同時確認できる Google sheet 共有する。

本単元における外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

その場での会話を継続するために、伝えたい内容と英語表現に着目し、相手の理解や質問に応じて英語表現を選択したり、非言語を用いたりしながら、やり取りすること

本時の目標

- 学校紹介に関する質問や、学校生活の思い出について、既有的の英語表現をはじめ、中、終わりの英語の構成で話したり、聞き手に伝わる英語表現や非言語表現を考えたりしながらやり取りすることができる。

本時の学習過程 (5 / 6 時)

学習活動・内容・予想される子供の反応	手立て
<p>1 即興的なやり取りで話す力を高めるとい本時の目標について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の学習を通して身に付けた力を基に見通しをもつこと <p>・ これまでのプレゼンテーションと違って聞くことと話すことを併せて、その場でやり取りする力を高めることができそうだな。</p> <p>・ 英語の構成の中の部分で知っている英語を使ってやり取りを続けたいな。</p> <p>英語の構成にこれまで学習してきた表現を使って、その場で質問に答えたり質問したりして会話を続けよう。</p> <p>2 福岡小学校の魅力や思い出をプレゼンテーションし、質問に対して回答したりプレゼンテーションの内容を基にその場で会話をしたりする。</p> <p>(1) プレゼンテーションに関する質問についてやり取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の構成の中の部分の具体的な英語表現を用いながら、伝えたい内容を整理すること <p>・ 藤だなのことについては、花の特徴を伝えられそうだな。 “Fuji is Beautiful purple flowers.” で伝えてみよう。</p> <p>・ 広島で食べたお好み焼きが大きかったから “It was big.” を加えよう。</p> <p>(2) 福岡小学校についての質問や学校生活の思い出について、その場でやり取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既有的の英語表現を用いたり資料やジェスチャーなどを駆使したりすることで、聞き手の理解に応じたやり取りができることについて気付くこと <p>・ 学校の行事について質問されたが “I like～.” で答えることはできそう。また “went to” “ate” “enjoyed” を使うことができそう。</p> <p>・ 相手の国の学校文化についても、英語で聞いてみることができそうだな。</p>	<p>※ 発揮したい資質・能力を捉える事ができるようにするために、年間の学びの流れ図を提示する。</p> <p>※ 伝えたい内容の英語表現を英語の構成の中の具体で想起することができるようにするために、聞き手からの質問に対する回答を想定したやり取りの場を設定する。</p> <p>※ 英語表現を選択して話すことができるようにするために、英語の構成に応じた音声を共有する。</p>
<div style="text-align: center;"> <p>身近な経験を伝えるから伝え合うに高める子供の姿</p> <p>子供の日常に根差したトピック ▶ 学校紹介 学校生活の思い出</p> <p>留学生へのプレゼンテーション ▶ 留学生とのその場でのやり取り</p> <p>Please tell me about your school. What is your best memory.</p> <p>伝達の活用: 資料提示, ジェスチャー, 立ち位置, 目線 など</p> <p>英語の構成の活用: My best memory is school trip. It was very fun. I went to HIROSHIMA. I ate Okonomiyaki. It was big and delicious. Do you like Okonomiyaki ?</p> <p>はじめ introduction 中 body 終わり conclusion</p> <p>「話すこと」(発表) ▶ プレゼンテーション 「話すこと」(やりとり) ▶ 即興会話</p> <p>伝達の論理の獲得 英語の構成の獲得</p> </div>	
<p>3 本時の学習を振り返って、話す力の高まりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やり取りを継続して話すことについて、高まった話す力をこれまでの学びと関連させて考えること <p>・ 質問に対して、英語の構成の中の部分を増やして話すことや、プレゼンテーションで気付いた伝え方を駆使して前よりも話を続けることができたよ。</p>	<p>※ 自己のコミュニケーションを図る価値の変容を捉えることができるように、過去の動画を提示する。</p>

【本時求める子供の姿】

☆ 伝えたいことの英語の構成の中の内容を具体的に話したり、その時のジェスチャーや写真を使いながら話したりすることで、前回よりも相手と話を続けることができたことが実感できてよかった。